

「令和 7 年度 広域自治体における資源循環システム構築の実証事業」を完了

**— 大都市圏での資源循環システム構築に向けた実証事業 —
(油化によって得られた基礎化学品を用い、ポリエチレンを製造)**

日本ポリエチレン株式会社（本社：東京都千代田区 社長：安田 孝、以下「当社」）は、株式会社三菱総合研究所が委託先として採択された経済産業省「令和 7 年度 広域自治体における資源循環システム構築の実証事業」について、三菱ケミカル株式会社、日本ポリプロ株式会社、アールエム東セロ株式会社、株式会社カナオカホールディングス、大日本印刷株式会社、東洋製罐グループホールディングス株式会社、三井物産株式会社、三井物産流通グループ株式会社、及びリファインバース株式会社と連携し本事業に参画、大都市圏における資源循環システムの実証を実施し、このたび実証を完了しました。

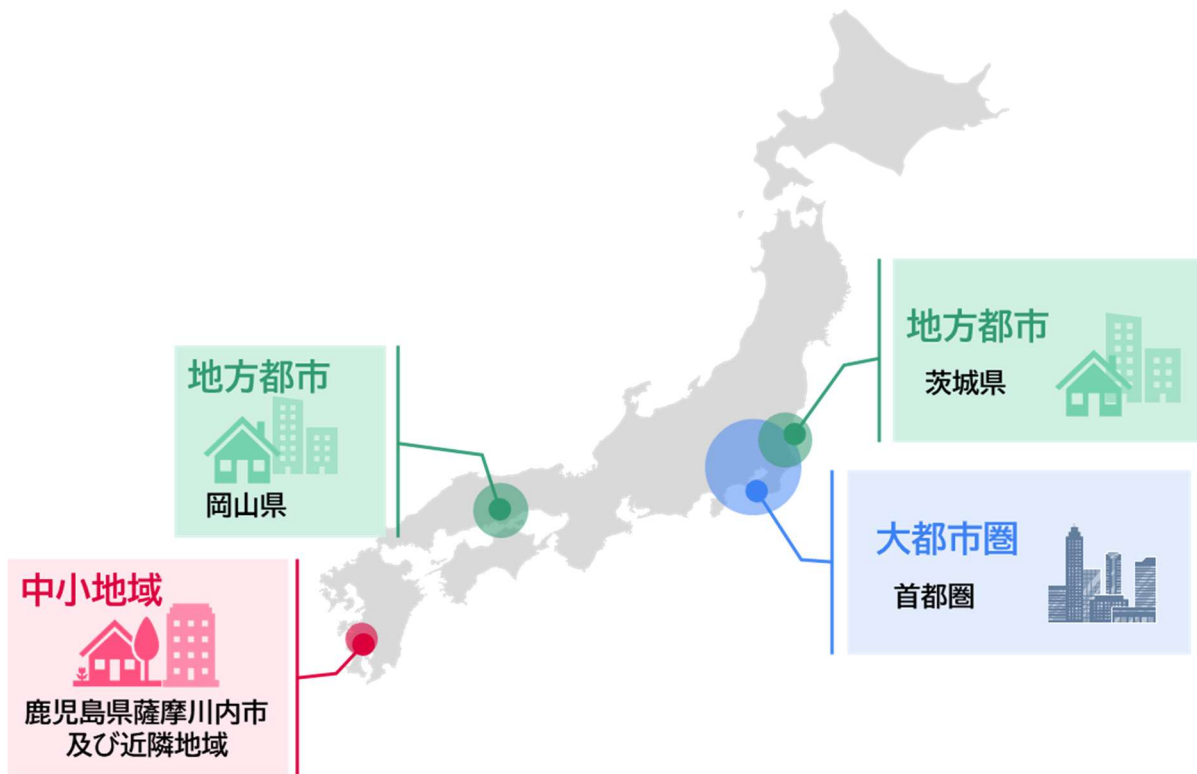


図 1 本実証事業の対象地域

本実証事業では、各社工場で発生した廃プラスチックを回収・前処理した後、三菱ケミカルがケミカルリサイクル（油化）を実施し、得られたナフサからエチレン・プロピレンを製造しました。これを原料として、当社および日本ポリプロにて、それぞれケミカルリサイクル由来のポリエチレン（CRPE）およびポリプロピレン（CRPP）を製造しました。

評価の結果、CRPE および CRPP は石油由来品と比較して基本物性に顕著な差は認められず、同等の品質であることを確認しました。また、これらを用いて製造した食品容器包装材についても、物性・機能の両面で石油由来品と同等の性能を有することを確認しました。

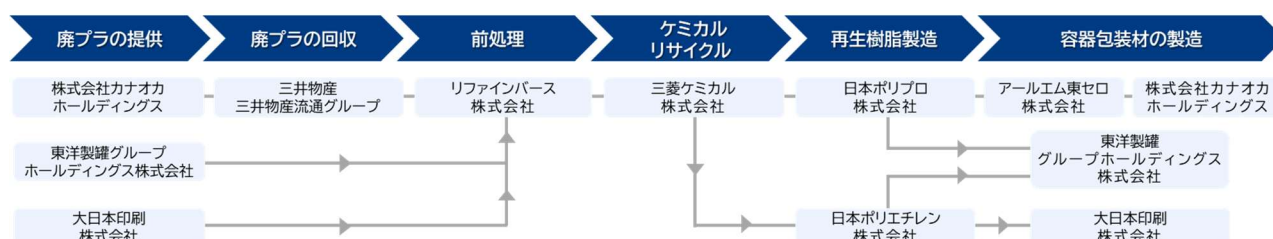


図2 サプライチェーンのイメージ

詳細は三菱ケミカルのプレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.mcgc.com/news_release/pdf/02684/02928.pdf



- 「HOPE&LOOPP™」は「イノベーションでつながる、サステナブルな明日。」をモットーに、2023年10月に立ち上げた日本ポリケムグループの環境負荷低減活動全般のブランディングシンボルです。
- 「NOVAORBIS™」は環境負荷低減原料を使用したカーボンニュートラル/サーキュラーエコノミーに貢献する日本ポリプロ株式会社と共同運用するポリオレフィン製品の新ブランドです。

以上

【本件についての問い合わせ】

以下リンク先のフォームよりお問い合わせください。

<https://www.j-polyethylene.com/contact/products-inquiry/>